

箕輪町 議会だより

みんなの議会



第81号
2022.8.1



収穫を楽しみに泥まみれ

西小学校5年生の農業体験

親しみやすい
議会だよりを
目指して

- 補正予算・条例制定 ……P2・3
- 委員会審査の概要 ……P4・5
- 町政を問う ……P6～19
- がんばってます! ……P20
通学見守り隊・パトロール隊



議会ホームページ

一般質問の様子を動画で! 「町政を問う」の各議員のQRコードを読み取ると動画を視聴できます。

6月定例会

補正予算 可決

6月定例会は、5月30日から6月13日までの15日間の会期で開催されました。一般質問には、13人の議員が登壇し町政運営を質したほか、一般会計、特別会計、企業会計の各補正予算 7件、専決処分の承認 2件、条例の一部改正 5件、町道の変更 2件、請負契約 1件、議員提出議案 5件の22議案が提出され慎重審議の結果21議案を原案通り承認・可決、1議案を継続審査としました。

●補正予算

新型コロナウイルス感染症関連の 主な施策


公共施設等感染拡大防止対策

公共施設等において、新型コロナウイルス感染症による接触感染・飛沫感染の防止、3密防止などの感染機会を削減するための対策経費増 **234万円**

若者検査費用補助金

就職活動及び受験等により、県外との往来がある学生等に対し、PCR検査等の一部を補助(PCR検査20,000円、抗原検査7,500円) **200万円**

学生支援

 町を離れて暮らす、箕輪町出身の学生に対して、ふるさとの情報提供と地産品セット7,000円相当またはQUOカード5,000円分 **288万円**


生活困窮者支援事業補助金

民間事業者に対し、生活困窮者を支援するための食料品等購入費用を補助 **300万円**

(国)子育て世帯生活支援特別給付費

ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯への特別給付金 **1,370万円**

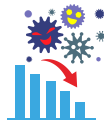
(県)子育て世帯生活支援特別給付費 (ひとり親世帯分)

 ひとり親世帯の低所得の子育て世帯への特別給付金 **63万円**


子育て世帯支援交付金

保育園、小中学校の保護者への家庭の負担軽減として、3カ月分の副食費(3,000円/月)、給食費相当額を支援 **4,264万円**

住民税非課税世帯等臨時特別給付金

 住民税均等割非課税世帯や新型コロナウイルス感染症の影響で家計急変のあった世帯を支援 **2,987万円**

飼料高騰緊急支援事業補助金

 経営を圧迫されている畜産農家に対し、配合飼料購入費の一部を補助(購入費用5%、3カ月分) **370万円**

みのわプレミアム付き応援券

地域での消費拡大を喚起するプレミアム付き応援券の販売 **6,300万円**
・応援券10,000円→13,000円
・みのちゃんポイント10,000円→15,000円



危機突破家賃等支援金

原油価格高騰による経営の圧迫が顕著な中小企業者の事業継続及び回復を支援するため家賃等への支払いを想定した支援金を補助(上限10万円) **500万円**

原油価格高騰対策事業者支援金

原油価格高騰による経営の圧迫が顕著な交通事業者・クリーニング事業者への支援金を補助
・交通事業者10万円～30万円 **100万円**
・クリーニング事業者10万円

みのわ温泉利用補助金

原油価格高騰の影響を受ける住民や事業者を支援するために、ながた荘・ながたの湯の利用料金を助成
・中学生以上 500円→400円 **1,500万円**
・小学生 300円→200円

その他の予算

乳幼児・児童に係る福祉医療無料化に伴う給付金増	1,160万円
保育園不燃ごみ処理委託料	167万円
若草園増築に係る土地購入費増	110万円
HPV感染症県外定期予防接種補助金	150万円
HPV感染症任意接種償還払い補助金	100万円
路線測量・設計業務委託料増	300万円
町単独道路整備事業費増	1,750万円

● 条例改正

箕輪町税条例等の一部改正

(令和4年3月31日専決)

主な改正内容	住宅取得控除の適用期間を延長するもの 省エネ改修工事に係る固定資産税の税額措置の見直し等
--------	-------------------------------------------------

箕輪町議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例及び箕輪町特別職の職員で常勤のものとの給与に関する条例の一部改正

期末手当の支給割合を0.10月引き下げる

箕輪町国民健康保険税条例の一部改正

(令和4年3月31日専決)

主な改正内容	課税限度額の見直し 基礎課税分 63万円 ⇒ 65万円 後期高齢者支援分 19万円 ⇒ 20万円 介護給付金分 17万円 ⇒ 17万円 (改正なし)
--------	----------------------------------------------------------------------------------------

箕輪町パートタイム会計年度任用職員の報酬、期末手当及び費用弁償に関する条例及び箕輪町フルタイム会計年度任用職員の給与に関する条例の一部改正

一般職の職員の期末手当の支給月数の改正に準じ、期末手当月数を改正

箕輪町一般職の職員の給与に関する条例及び箕輪町一般職の任期付職員の採用及び給与の特例に関する条例の一部改正

期末手当の支給割合を0.15月(再任用職員は0.10月)引き下げる

箕輪町介護保険条例の一部改正

新型コロナウイルス感染症の影響により、収入の減少が見込まれる場合の介護保険料の減免期間の延長を定めるもの

箕輪町消防団員等公務災害補償条例の一部改正

消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律の一部改正に伴う改正

● 賛否が分かれた審議

- ・議長は原則として採決に加わらない。○ = 賛成 × = 反対
- ・詳細に関しては箕輪町議会ホームページで、後日議事録を閲覧することができます。

提案の趣旨	提出者	荻原省三	木村英雄	釜屋美春	寺平秀行	松本五郎	唐澤敏	岡田建二朗	青木俊夫	中澤清明	金澤幸宣	中澤千夏志	入杉百合子	中村政義	小出嶋文雄	結果
インボイス制度(適格請求書等保存方式)の農業・農村における影響を緩和する措置を求める陳情書	上伊那農業協同組合 代表理事組合長 御子柴 茂樹	○	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	-	不採択
		<p>【賛成討論】*免税農家がインボイス制度導入で排除されるか、新たに納税事業者にならざるを得なくなる。*3月議会ではインボイス制度の中止ということであるが、今回は緩和である。JA上伊那からの陳情でもあり、大きな意見として受け止めるべき。 *小規模事業者や弱者等、対象者を絞るというような緩和措置を求めることは必要。</p> <p>【反対討論】*インボイス制度導入は軽減税率導入への対応と益税の抑制。税率をより明確に把握して取引の透明性を高め、不正やミスを防ぎ、適正かつ公平な課税を図るもの。 *本年3月議会で不採択とした。3か月前に不採択としたものを今議会で採択するのは見識が問われる。 *税の公平性からも農業だけ緩和をすることに賛成することは出来ない。</p>														
「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、すべての農家経営への支援策強化を求める陳情書	上伊那農氏組合 代表者 竹上 一彦	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	○	×	×	-	不採択
		<p>【賛成討論】*水田活用直接支払い交付金は施設維持のための賦課金支払いに充てられてきた。交付金がなくなれば、転作農家を苦しめ、土地改良区に影響を与える。 *交付金の見直しによって農地の維持が困難になることは明らかで、JAも現在の見直しの議論は認められないとしている。</p>														

● 意見書の提出

可決された意見書	「さらなる少人数学級推進と教育予算の増額」「義務教育費国庫負担制度の堅持・拡充」を求める意見書
	女性トイレの維持及びその安心安全の確保を求める意見書
	水田活用の直接支払交付金見直しに関する意見書

● 請負契約

令和3年8月豪雨災害 林道施設
災害復旧工事の請負契約
契約金額 83,050,000円

総務産業常任委員会

令和4年度一般会計補正予算（第2号） 学生支援商品券

問 学生支援商品券デザイン作成等業務委託で想定されている学生人数とデザイン料のボリュームは。

答 学生人数は450人で計上。18歳から26歳の人数で進学割合を算出。デザイン料はコロナ禍で「ふるさと回帰」を目的として箕輪町を思い出してもらうためにメッセージ性の高いものを依頼した。

結婚支援事業

問 結婚支援事業の県の充当分が2分の1から3分の2に変更されているが町からの依頼なのか。

答 町からの申請である。当初は結婚生活スタートアップ補助金に活用するように申請したが、結婚相談所などで実施するイベントにも補助金が見えるなど複合的に実施する市町村が3分の2に該当することから再申請をした。

公用車リース料と公用車購入

問 公用車リース料376,000円と公用車購入360,000円との関係は。

答 公用車は新車を5年間リースし、その時の残存価格によって買い取るか、再リースにするか決める。今回は買い取りの方が有利と判断した。残存価格が多い場合は2年位再リースする場合もある。



問 ゼロカーボンシティ宣言で「2030年までに公用車を随時電気自動車に変えていく」とあるが今回はその対象にしないのか。

答 2030年までに公用車を全部電気自動車に変えたいという目標はあるが、今の時点で8年あるので乗りつぶした後にEV車に変える予定である。

飼料高騰緊急支援事業

問 飼料高騰緊急支援事業の補助対象者に「牛を飼育しており、牛乳、肉などを出荷販売している農業者」とあるが、繁殖牛の畜産農家は含まれないのか。

答 そのような農家も含まれるように予算計上している。

問 補助対象が7月1日から3ヶ月分となっているが、前倒しの「買いだめ」にどう対処するのか。

答 理屈上は可能だが、サイロのボリュームを加味しても現実的には買いだめはできない。過去の使用量と比較して極端に差があれば相談させてもらう。

問 配合飼料購入費用の5%の根拠は何か。

答 配合飼料価格安定制度は4半期ごとに改定される。今年1月から3月に対し4月から6月の価格上昇分が約5%なので適用した。昨年度と対比すると20%から30%上昇しているのが実情。

問 国の補助金以外に町の財政の中からの補助は検討したか。

答 飼料総額からすると及ぶものではないが、他の支援制度とのバランスの中で判断した。

みのわ温泉利用補助金

問 燃料高騰で施設側の状況は厳しいのでは。

答 前期比で灯油代が380万円、電気代が360万円ほど増加した。

問 厳しい経営状態の中で温泉券の補助金を出すことに町民や他の自治体から驚きの声があるが。

答 本業の部分の集客増加で挽回していきたい。入浴料を下げることで町民にも喜ばれ数字も回復することを期待する。

現 地 確 認

総務産業 常任委員会

- 日 時 6月9日
- 出席者 委員6人



三日町下水道処理施設「箕輪浄水苑」



上伊那広域水道用水企業団「箕輪浄水場」

福祉文教常任委員会

令和4年度一般会計補正予算（第2号） 生活困窮者支援

問 生活困窮者支援事業補助金の内容は。

答 コロナ禍でSOSネットワークが生活困窮者を月2回支援



している。支援物資が集まらないことがあり充足するため補助するもの。令和2年度は21回開催。参加者は359人。3年度は24回。511人だった。

乳幼児給付金

問 医療費の窓口無料化に伴う乳幼児給付金の対象者の人数と年代別の状況は。

答 対象人数は4,000人。年代別では0歳から6歳が多く、中でも3歳の入園時と、6歳の入学時のレセプト件数が多い状況。

伊那中央行政組合負担金

問 伊那中央清掃センターの解体工事で残存物にダイオキシンが確認されたが、その他の有害物質が埋蔵されている可能性はあるのか。また分析結果でさらに費用負担が増えるのか。

答 現時点の撤去費用は7,150万円と聞いている。ダイオキシン以外の分析も行い結果によっては町の負担が増える可能性はある。



町内一周駅伝大会

問 駅伝大会のための新型コロナ抗原検査キットの購入について、配布範囲はどこまでか。2回分配分することの内容は。

答 今年は何としても開催したい。出場者400人を想定しスタッフまで配布は可能である。練習期間中1回と大会直前に1回の検査を考えている。キットの値段が下がって来ているので500人に2回以上提供できると考えている。

子宮頸がんワクチン

問 HPV感染症県外定期予防接種補助金と任意接種償還払い補助金の内容は。

答 県外で定期接種を受けた19歳から22歳の方に対する3回分の補助をするもので30人分を予定。また任意接種した方に対する補助。1年に2人とみて9年で18人分を補助するもの。対象者には郵送で通知済み。

保育園粗大ごみ処理委託料

問 粗大ごみはどのようなものか。リユースの時代、使えそうなものは譲渡してはどうか。処理はどのように行うのか。

答 オルガンなど今使っていないものを処分する。譲渡についてはフリースクールなどの団体から相談を受けている。活用できるものについては配慮したい。処分する物は処理業者に1kg83.6円で依頼する。

介護保険条例の一部改正

問 条例改正の対象者はどのような方か。収入の把握はどのようにするか。人数は。

答 前年度より収入が10分の3減収した方。源泉徴収票や給与明細書で確認する。令和3年度は3名。

議会活動日誌

議会活動の一部を紹介します

4月

- 6日 議会広報特別委員会
- 8日 議会広報特別委員会
- 12日 議会広報特別委員会
- 26日 議会運営委員会・臨時会

5月

- 10日 議会広報特別委員会
- 19日 議員定例協議会・議会運営委員会
- 30日 6月定例会開会

6月

- 6日・7日 一般質問
- 8日～10日 委員会審査
- 9日 議会運営委員会
- 13日 議会運営委員会
- 13日 6月定例会閉会
- 16日 議員パソコン研修会
- 21日 議会広報特別委員会
- 27日 議会広報特別委員会



一般質問は必ずしも自由傍聴できません

ここが聞きたい

町政を問う



日輪寺境内にある延命水



解説

箕輪町南小河内区内の日輪寺。
日輪寺は知久氏が建久2年(1191年)に祈願寺として開いたとも伝えられるお寺で、今ではあじさいの寺として知られています。
敷地内はとても静かで落ち着きを感じます。
境内にはお地藏様と延命水の手水鉢があります。

主な質問	議員	ページ
ゼロカーボンシティ宣言後の取り組みは	寺平 秀行	7
子供の精神的幸福度 世界でワースト2位!	中澤 清明	8
保育園の使用済み紙おむつ 持帰り廃止を	釜屋 美春	9
ゼロカーボンシティ宣言の狙いは	青木 俊夫	10
町として皮膚科専門医院を誘致してはどうか	金澤 幸宣	11
導入から1年 みのわメイトの登録率は	中村 政義	12
ヤングケアラー 取り組みの計画は	松本 五郎	13
高齢者のフレイル対策の促進を	入杉百合子	14
水道事業の安定経営継続のため抜本改革を	木村 英雄	15
町の活性化に総合的な産業ビジョンづくりを	唐澤 敏	16
森林火災への備えと体制は	中澤千夏志	17
小児ワクチン接種 保護者の不安に寄り添って	岡田建二郎	18
地元農産物の消費を促進する環境づくりは	荻原 省三	19

一般質問を動画でご覧いただけます



※視聴にはQRコードリーダー(アプリ)が必要です。
※動画視聴には通信料が発生しますので、Wi-Fi等の利用を推奨いたします。
※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。

一般質問はみなさんでも自由に傍聴できます

一般質問は、年4回の定例会(3月、6月、9月、12月)で、町政全般にわたり町長その他の執行機関に対し、自由な質問内容を開会日の翌日正午までに議長に通告することとしています。議員一人の制限時間は55分で、一問一答方式を採用しています。6月議会では、6月6・7日の2日間に、13人の議員が質問しました。

ゼロカーボンシティ 宣言後の取り組みは

町長 工業ビジョンの中で補助金等、検討



寺平 秀行 議員

問 近隣自治体の関係者から箕輪町はゼロカーボンの取り組みが進んでいるとの評価をいただくことが多くなった。自治体のイメージは大切だ。南箕輪村は日本一の子育ての村とのイメージが若い層で定着し、人口増加に結びついている。箕輪町もゼロカーボン先進都市のイメージが定着することで企業誘致に結びつけたい。商工会との連携、企業への取り組みをどうするのか。

町長 町が昨年度実施した事業者向けのアンケートによると、ゼロカーボンの取り組みについて設備投資がかかるということを課題に挙げた中小事業者が非常に多かった。今後の支援策については商工会とも相談をしながら対応を考えてまいりたい。今年度行う予定になっている工業ビジョンの見直しの中でもゼロカーボンにかかわる補助事業等々についても検討してまいりたい。



ゼロカーボン目指し啓蒙

自殺対策、取り組みは

問 自殺について近年の推移は平成30年が5人、令和元年が0人、令和2年は5人との議会答弁があった。3年間で合計10人である。年平均3.3人の計算となる。これを比較するために10万人当たり計算しなおすと13.2人になる。世界平均は10万人当たり9.9人ということで箕輪町は決して低い数字ではない。直近の取り組みは。

町長 新たな取り組みは中学生を対象としたSOSの出し方に関する教育を夏休み前に実施したい。自殺リスクを抱える前段階の予防策として中学1年生を対象に全クラスで実施する。みずからを大切な存在と認識をする、ストレスとの付き合い方とか、ストレスへのセルフケアまたSOSの発信について学ぶ内容になっている。

秋以降の原油高騰の 対応、灯油券は

問 原油価格について専門家の見立ては、今年一杯は高止まりという予想がわりと多いように思う。冬に向けて高齢者に灯油券の検討を進



昨年発行されたガソリン・灯油等の購入助成券

めるべきだ。去年も実施されたが特に高齢者に厚い灯油券を今年も検討するべきだと思うが考え方は。

町長 昨年は全世帯を対象に5,000円分のガソリンまたは灯油券の購入助成券ということで交付し、75歳以上の世帯で住民税非課税世帯について5,000円分上乗せという対応をした。この事業の換金率は92.6%で非常に高い換金率だった。

本年度については、これからの灯油価格の状況を見ながら、いずれ秋以降に状況を見ながら検討することになると思う。9月議会での補正または臨時的にお願いすることもある。

物価上昇で秋以降の 給食費は

問 給食費については食材費の高騰が見込まれるため直近3ヶ月については補助金をつけて対応するが、秋以降の対応をどうするのか。

教育長 学校給食に必要な栄養バランスや質の維持のため値上がり分は保護者負担を求めるものではなく町からの金銭的支援を検討している。今後食材のさらなる値上げも予想されることから9月以降に食材等の高騰分に対応した補正予算を考えている。

子供の精神的幸福度 世界でワースト2位！

教育長 心が満たされない様子気になる



なかざわ きよあき
中澤 清明 議員



町長選・県議補選 についての考えは

問 ①垣内県議の急逝に伴う県議補選に箕輪から県議を出すべきとの町民の声が強いがどう考えるか。②町長選への態度表明の時期は。

町長 ①箕輪に県議がないことで県政との関係で物足りなさを感じてきた。リニア、三遠南信が進む中、この地域が埋没しないようにするのは県政の役割で箕輪から県議を出すことは必要と思う。②後援会ともよく相談し、あまり遠くない時期を考えている。

教育長の基本的考え方

問 ①長年の教師経験から感じている今の児童生徒、PTAの1番の問題点は何か ②学校長、教育委員会勤務の経験から感じている教育行政の課題は。③どんな学校づくり、どんな子供づくりを目指すのか。



教育長 ①現在の教育は変化が大きくスピードが速い。子供たちもそこに中々乗り切れない。子供同士のつながりが弱く、孤立化する傾向が強くなっていることが心配だ。保護者についても自分だけでなく視野を広く持って相手のことも考えて人と人のつながりを作ることが課題と思う。②教育行政は幅も広く量も多い。激しい変化にスピード感をもって対応しなければならず、短期間で成果を求められる。限られた人員と予算で対応していくのは正直大変だと感じた。③学校教育では学級づくり、授業改善、ふるさと学習の3点に力を入れていきたい。子供たちが予測不能な世の中を生きていくには情報活用能力、人と人の関わりであるコミュニケーション能力、自分を相手に置き換えて考える想像力などをもった子供に育ってもらうための教育に取り組みたい。

子供の幸福度の現状 と学校の取組

問 ユニセフレポートによると日本の子供の幸福度は精神的幸福度が38か国中37位、身体的幸福度は2位、数学や読解力は5位となっている。①精神的幸福度がワースト2位であることについての所感は ②精神的幸福度が低い原因と学校教育の関わりでは

「日本の学校におけるいじめが非常に深刻」、「学校への帰属意識が低い」、「友達の作りづらさ」の3点が指摘されているが、箕輪の状況は。③幸福度向上には基本的自尊感情を育てることが大事で、そのためには共有体験や共感経験が大切と言われる。どう取組むか。

教育長 ①身体的健康と精神的幸福度のアンバランス、精神的には満たされていない様子が垣間見られ、私自身も気になる。②いじめについては早期発見、早期対応が大事。学校への帰属意識や友達関係については詳細に見ていかなければと思う。全国学力学習調査の「学校が楽しいか」の設問に対して箕輪では小学校で84%、中学校で83%が楽しいと答えている。③自己理解そして相手理解をじっくりして人とのつながりを作るのが課題。子供たちが学校の中で苦しい、大変だということを言える場、それを拾って解決できる学校体制や教職員、子供同士のつながりを大事にしたい。



保育園の使用済み紙おむつ 持帰り廃止を

町長 9月議会に予算計上し実施する



かまや みはる
釜屋 美春 議員

問 使用済み紙おむつの持ち帰りを廃止する保育園が全国的にも多くなってきている。コロナ禍で衛生面からや、子育て支援としても保育士さんの負担軽減にも良い効果があるのでは。長野県は95%の園が持ち帰っており、調査では全国でもワースト2位となっている。保護者から、また保育現場の声はどうか。また町長の考えを伺う。

町長 おむつの持ち帰りは布おむつを持ち帰った時代の名残と見方もある。保護者からは、夏は特に車中の匂いがきつい。布団の持ち帰りやおむつのバケツと送迎時は大変。保育現場からは、おむつの様子で子供の健康状態を見てほしい。保育料として徴収していないおむつの処理費・収集費用をどうするか
課題はあるが、9月議会に予算計上し実施する。



先生も保護者も大変！

公園に高齢者向け健康遊具を

問 コロナ禍で高齢者のフレイルが心配されている。①高齢者向けの健康遊具、例えば背伸ばしベンチ・腰を動かすバランス円盤・足を鍛えるリズムステップ・腹筋に効くポート漕ぎ・サイクリングベンチなどを天竜公園やみのわた

ス周辺に設置を。②天竜公園内の遊歩道は一周5分ほどで、軽いウォーキングを楽しむ方が多い。足に優しいゴムチップの舗装に替えてはどうか。

町長 天竜公園は整備後30年を経過しており老朽化しているものから整備をしてきている。①健康遊具は設置を検討したい。作るからには利用していただきたい。②天竜公園の遊歩道は外周約360m幅3mくらいだが今後の整備計画に入っているが、財政的な問題もあり舗装が劣化しているところから補修する。ゴムチップ舗装は考えていきたい。



松島垣外公園の健康遊具
背伸ばしベンチとバランス円盤

AEDに三角巾の配置を

問 傷病者が女性で、一般町民がAEDを使用する場合、上半身を広げて電極パッドを貼ることをためらう人が少なからずおり、AEDを使えなかった例もあったという。①女性のプライバシーに配慮しAEDに三角巾を配置してほしい。救急車が来て運ばれるまでの時

間、三角巾で覆うことができる。また三角巾は怪我の手当にも使えるので配置を。②女性に配慮したAEDの使用ガイドに、○衣服やブラジャーを脱がさなくても右胸と左の脇腹にパッドを貼る。ブラジャーのワイヤー部分がパッドに触れないよう十分注意。○妊娠していても行う。○AED使用中、上から服や布をかけてもよいとある。女性に配慮したAED救命の研修・周知を。

総務課長 ①15区に配置してあるAEDが更新の時期に来ているので、付属品として三角巾を設置する予定。また町有の施設についても設置していく。②AED更新で音声ガイダンス、画面表示で操作ができるものを導入する。上伊那広域消防・消防団・日赤・各区の防災訓練で研修していく。



三角巾を活用した救急救命

その他の質問

- 物価高騰下、給食の質と量確保を
- HPVワクチン接種と予防教育

ゼロカーボンシティ宣言の狙いは

町長 8年後にCO₂を60%削減



あおき としお
青木 俊夫 議員



問 町はゼロカーボンシティの宣言を7月3日に予定しているが、今後町として取り組む施策は。

町長 住宅の屋根への太陽光発電設備や蓄電池の設置の更なる推進、またEV車の導入推進を。また県への計画書、報告書の提出義務のある町内の7事業所にも協力をお願いする。また既に再エネ由来の電力に切り替える企業もある。2030年には60%の削減目標で町民又は事業者の皆さん、公共施設としての町、それぞれ連携協力してCO₂排出削減に向け努力する。

問 環境負荷低減に向けて、二酸化炭素を排出しない電気自動車の普及促進を図るための環境整備をどのように進めていくのか。

町長 2030年までに町内の乗用車の1割、個人、業務用併せて1,200台これをEV化する計画を掲げている。災害時にEV車を活用して、今までの購入者に連携協力体制をとれるような形にしながら国の事業化、充電スタンド等、検討して



今後公用車として活躍する電気自動車

支援することにより目標を実現したい。

問 役場や消防関係含め、公用車のEV化の取り組みは。

町長 役場で利用する公用車は原則としては今後新規に購入するものについてはEV車を前提として実施していきたい。

問 太陽光発電と蓄電技術、再生可能なエネルギーの更なる普及は。

町長 町の計画の中では屋根への太陽光発電設備の設置を出来る限り推進したい。また町の公共施設では候補地として20か所あるが、出来る限り設備の設置を進めて再生可能エネルギー導入を考えている。

問 二酸化炭素削減に向けて再生可能エネルギーの最有力となる太陽光発電パネルの設置に関して、現在はガイドラインであるが、なぜ条例化が必要なのか。

住民環境課長兼ゼロカーボン推進室長

再生可能エネルギーは温室効果ガス削減の観点からも重要ではあるが、災害発生危険区域への設置は災害誘発リスクの高まりが懸念される等により条例化を進めたい。

町長 他の市町村で野立ての太陽光についてかなり厳しい規制をしたことに伴い、当町における開発圧力が強くなることが想定される。

当町では大きな課題はないが、野立てについては条例で必要な場所については設置をさせていただく。



再生可能エネルギー確保に期待される太陽光発電パネル

次世代を目指す教育の充実とICT活用は

問 私たちの置かれている社会状況は大変日進月歩、特にIT環境は目まぐるしい進歩の過程にある。その中で昨年より児童生徒に一人1台のパソコンを持ってもらった。この社会を生き抜く子供たちにどのようにしてタブレットを活用した環境に触れていってもらうのか、ICT教育の課題と今後の方向性は。

教育長 課題は子供が主体的に進める。そういう中でどのように機器を活用してもらうのか、これは教師側の問題でもある。主体的、対話的で深い学びを実現するための授業改善が重要。

町として皮膚科専門医院を誘致してはどうか



かなざわ ゆきのぶ
金澤 幸宣 議員

町長 補助事業を入れ国保連を通じ募集



問 住民満足度調査にも「皮膚科耳鼻科が欲しい」との要望が多く寄せられている。伊那地域には総合病院以外に皮膚科専門医院が極めて少ない。そう感じないか。

町長 町長への手紙にも希望する声が届いている。皮膚科クリニックが上伊那北部に必要と思う。

問 地域医療の活性化に繋がる。町として皮膚科専門医院の誘致をしてはどうか。

町長 東部診療所が休診した際に皮膚科と耳鼻科の医師を募集したが応募がなかった。当時と状況が変わり大変厳しい状況にある。再度皮膚科の募集をする。実は耳鼻科も課題が多い。補助事業を入れ建物を含めた募集を国保連を通じ実施したい。

水道料金賃上げの必要性はないか

問 9年前に平均15%の値下げをしているが、公共料金が軒並み値上がりする中、水道料金は値上げ(料金改定)の必要性はないか。

町長 現時点今回の物価・原油高に伴う上げ下げは考えていない。将来構想の中では収支均衡を見ながら改定が必要ならば実施する。

問 料金改定する場合の手順及びリードタイムはどのくらいか。

町長 財政状況を確認しながら現在料金の将来的適正さを検証。町民参画の水道運営審議会に諮問し答申により条例改正後議会議決。周知期間含め最低1年程度必要。

問 箕輪町の水道料金は高いと言われているが、設定料金の位置付けとその構成要素はなにか。



箕輪ダムからの水を
長田の箕輪浄水場へ送る「天竜川水管橋」

町長 上伊那地区の中では平均的で特別高くはないが、地下水依存の諏訪地区と比べ箕輪ダム依存の上伊那地区はどうしても設定が変わる。人件費・薬品費・動力費・修繕費・受水費及び減価償却を勘案し算定。

クラス替えに教育委員会の関与は

問 北小・中部小は2年毎、箕輪中はクラス替えの歴史がない。小中学校のクラス替えは学校長判断と聞かすが、教育委員会の関与はないのか。

教育長 南小・東小・西小は単級のためクラス替えが出来ない。学校教育法第37条で学校長判断となっ

ているが、児童生徒の実態を基に町教委として校長に助言を行う。

問 長野市の裾花小が県内初の毎年のクラス替えに踏み切った。全国的には「毎年」が主流と聞かすが町内校の今後の方向性はどうか。

教育長 先行事例が出来るので参考にしながら長所短所慎重に判断して行きたい。

移住定住後の状況と自己評価は

問 移住してきた方たちのその後の状況と移住したことそのものへの自己評価は。

町長 人口減少の歯止めにより少子化対策があり、産業振興により転入者を増やす施策の一つが移住定住である。移住後積極的に新規移住者のアドバイザーになったり、支援員になったり、大きな課題があるとは考えていない。多くの方は地方での暮らしの実態を調査学習して来ている。箕輪に来れば幸せになると思っている。

問 宅地開発促進事業で災害リスクの懸念をどう反映させているか。

町長 町内で希望する土地が少なくなっているのは確か。土砂災害警戒区域・浸水想定区域に町の事業を組込むことはない。救急車進入不可や土石流・地滑り想定区域を進めることはない。



なかむら まさよし
中村 政義 議員



導入から1年 みのわメイトの登録率は

町長 20歳以上の人口比較では34.3%

問 箕輪町情報アプリみのわメイトは導入から1年余りが経過、登録率はどうか、また今後の活用推進は。

町長 令和4年6月1日現在、登録者は6,970人。20歳以上の人口2万339人と比較して登録率は34.3%。小中学校の連絡網として活用されているということもあり、30代半ばから50代前半の子育て世代の登録率は高い。一方で30代前半以下、75歳以上の世代は登録率が低調。今後の活用推進については、行政情報以外の利用拡大に期待。現在沢、八乙女、中原、松島、富田、5つの区で、独自の情報発信が始まっており、今後もさまざまな主体で活用していただく中で、促進していきたい。

問 アプリの機能を生かした利用が十分にできない人が多い状況ではないか、利用向上のための機能改修の計画があるのか。



箕輪町の地域情報を音声などでお届けする町民向けコミュニケーションサービスです。

町のホームページから無料ダウンロードできます

町長 今年度アプリの操作性を向上させるため、機能改修を予定。具体的にはメッセージを複数選択したり、一括削除したり、使いやすい利便性の高いものにしていきたい。

小中学校の現況は

問 就任から2ヶ月余り経過。初心に変化があったのか。さらに強くした部分はあったのか。

教育長 責任の重さが日に日に痛感される。学校だけでなく生涯学習等、様々な場面で今後の課題があり、一つ一つ丁寧にどう取り組むか、何はともあれ、しっかりと正しく知る、きちんと情報を捉えていくことが必要。今は前教育長の路線の上に乗っかっているがここからまた質を高めたり、私自身がやりたいことを見つけ進めていく。

問 現在箕輪町の不登校の現況と今後の取り組みは。

教育長 令和になってからの3年間30日以上長期欠席児童生徒の数は微減微増の状況。今年度、4月5月の状況は、昨年度まで登校できずにいた子どもの登校開始の例もある。反面、状況の変わらない子もいる。

中間教室の指導員の体制を複数名として取り組む。オンラインで授

業に参加できる環境の整備。それぞれの子どもの状況に応じて、複数の居場所を選択できる体制を整えていく必要がある。

問 学校の屋内外でのマスクの着用は。

教育長 4月28日文科省から発出された熱中症事故防止、依頼通知をもとに、感染防止対策の基本対策は継続しつつ屋外でのマスク着用は、熱中症予防を優先しマスクを外しての活動や体育の授業を実施することとした。

道路行政について

問 箕輪町の境界線を示す杭が何種類もあるが、どのように決められているのか。

建設課長 見えない境界点を現地で示す標識のことで、一般的には境界標と言われる。境界問題の予防、財産の侵害防止等に効用がある。コンクリート製、プラスチック製、金属製の板、釘、の4種類。

問 町道6号拡幅工事で使用されたコンクリート製の境界標は出ている部分が多く、危険を感じる。折れているものもあるが。

建設課長 頭の部分のみを出すかは所有者との意向で決定。注意喚起の意味でも気を付けて走行をお願いしたい。

ヤングケアラー 取り組みの計画は

町長 家庭・学校の問題両者で対応する



まつもと ごろう
松本 五郎 議員

問 「月刊かみいな」でヤングケアラー支援の現状が掲載されていた。県では今年の秋を目途に大規模な実態調査へと全県の小中学生、小中学校など対象にアンケート方式で行い、関係機関などを対象にした研修会を予定している。町としてはどのような取り組みで行う計画をしているか。

町長 県の調査に先んじて調査をしてきたので町では対応が始まっている。アンケートの中では兄弟の世話をしているが小学生では15人中中学生で4人、家族にヤングケアラーがいることが保護者で3人いた。可能性のある子どもが潜在的に多くいることを前提で対応したい。家庭の問題と同時に学校の問題でもあるため、両方で対応し、システムをつくりたい。

一人親家庭等は リスクが高い

問 一人親家庭、生活保護受給者等はヤングケアラーのリスクが高いと考えられる。教育関係者、児童福祉関係者、地域の民生委員等と課題を共有し、相談窓口の設置を。

町長 相談窓口をつくることは明日にでもできるが、この問題の解決に直ちにつながる状況にない。子どもの相談窓口が「子ども未来課」にあるので考えたい。連携で

きる範囲は広めて、主任児童委員や県の機関などを含めて、家庭の問題、プライベートな問題があるので協議をしていきたい。

職員研修を行い 体制を整えるべき

問 厚生労働省と文部科学省は令和4年度の概算要求で自治体に対するヤングケアラーの支援を盛り込んだ。その点で職員の研修を行い、町で対応する窓口の体制を整えるべきでは。

町長 県が実施する研修会等には参加する。県の調査事業に注目し取り入れる。

シカ捕獲実績減少の 要因は

問 町猟友会の方の努力で捕獲したシカは東の山に残渣処理されている。10年前は400頭以上処理されていたが、現在は200頭、捕獲実績減少の要因は。



罾を仕掛け捕獲したシカの残渣場(長岡区)

みどりの戦略課長 上伊那地域では減少傾向であるが、県全体では減少していない。他町村の統計では増加しているエリアもあるため、個体の移動と思われる。従来に比べてシカの警戒心が増し、増加数に対して捕獲数が追いついていないことが挙げられる。

シカの解体処理場の 建設を

問 住民からシカ肉活用の要望がしばしばあり、ジビエ料理を新たな地産地消の意識として見直す動きがある。最近では高校生がシカの食肉処理業と食肉販売業の許可を取得、解体から商品販売まで校内で完結できることが報じられていた。シカ肉をジビエ料理等に活用するには捕獲したシカを1時間半ぐらいで解体処理をしないと商品化できなくなる。近隣市町村と協力し合うことも視野に入れ解体処理場の建設をすべき。また、最近開発された最大5頭のシカが処理できる移動式解体処理車の活用を。

町長 捕獲頭数が大分減少してきている。現実問題、町が指導をして施設建設の状況ではない。処理車と解体処理施設がセットでなければ運営できない。



いりすぎ ゆりこ
入杉 百合子 議員



高齢者のフレイル対策の促進を

町長 保健師が指導に出向いている

問 新型コロナウイルスのオミクロン型の感染拡大により、高齢者は運動不足とコミュニケーションの不足により、フレイルが思いのほか早く進行している。対策の促進をすべきではないか。



町長 今回の第6波では1月から冬場で外出が大変少なくなり、機能低下を心配している。5月から民生児童委員が高齢者のみ世帯や気になる高齢者宅を訪問し、フレイルが心配な方に対しては保健師が指導に出向く取り組みを始めている。コミュニケーション不足については、区や常会のイベント行事の復活が待たれる。具体的なケースを考えて区長会等で提案をさせていただきたい。

原油価格、物価高騰による影響は

問 コロナ禍において、原油価格物価高騰に対する相談の状況は。

町長 町の相談員が事業所を回る中で、新電力会社に切り替えたが

価格の改定で前より高くなった、アルミなど原材料の価格の高騰、建築資材の高騰で工場の新増設に影響が出ているといった声がある。勤務する町民、一般町民にとっても大変厳しい状況が続いていると言える。実態調査については考えていないが、帝国データバンク、地元の金融機関での調べで状況が明らかであると思っている。

問 過去のコロナ臨時交付金事業の効果についての検証は。

町長 感染症対策や予防事業に使ったもの、コロナの中での災害対策、学校等のICT環境整備など交付金を活用して充実したと思っている。効果はあったと思う。コロナ禍において特に事業者の事業存続という面から見ると一定の成果もある必要な措置であったと考える。消費喚起策のプレミアム商品券等は効果があったと思う。

問 ウクライナの状況による影響で食材が値上がりしている。給食費の補助をするべきではないか。



教育長 4月の時点で年間の試算では、1食あたり10円必要になる増加が見込まれる。今後の更なる値上がりを見据えて、9月以降に食材費の高騰分に対応した補正予算を考えたい。物価高騰が続いた場合、適正な給食費かどうかについての検討は、今後していかなければいけないと認識している。

過去に誤給付の事例はないか

問 山口県阿武町において、町の事務ミスにより給付金が誤って振り込まれた。当町において過去に同様な事例はないか。ミス発生防止のための対策は。

会計管理者兼会計課長

当町の支払い処理では、給付、振り込みデータと支払伝票の確定額、また会計課で作成する小切手の金額が一致しないと振り込みがされない。

また、指定金融機関、八十二銀行に送信する際使用するデータの伝票確認書で件数と金額等の確認をする。国保団体連合会や上伊那広域連合システムを使用しており、システム上で給付誤りをチェックする防止機能が設定されており、かつ担当課、会計課でチェックする体制で支払い処理を適切に行っている。

水道事業の安定経営継続のため抜本改革を



きむら ひでお
木村 英雄 議員

町長 広域化も視野に研究をする時期



問 水道事業を取り巻く環境は厳しさを増している。経営の効率化、健全化と将来にわたる安定的な経営の継続のため現在の課題、将来の見通し、リスクの把握などを分析した上で抜本的な改革が必要と考えるが。

町長 人口減少に伴い給水収益の減少が見込まれるなか施設や設備の更新をいかに財源を確保して実施していくかの方策が必要。水道は新たに作る時代ではなく維持管理をする時代である。経営戦略は水道料金をどうするかを含めて見直しをしていくことが必要と考える。用水供給だけでなく個別の水道事業者の中でいかに広域の中で対応できるのか広域化も視野に入れた研究をする時期だと思っている。



上伊那広域水道用水企業団の箕輪浄水場

給水体制と復旧体制の確保は

問 地震などの自然災害、水質事故等の非常事態においても基幹的な水道施設の安全性の確保や重要施設への給水の確保さらには被災

した場合の速やかな復旧体制の確保が必要。

町長 広域水道企業団の水が取れない場合でも、町には北島の井戸水や上古田の湧き水など自己水源がある。

復旧体制は全国の自治体と相互応援協定があり、全国的なバックアップ体制がとられている。また、町の水道事業組合と復旧協力協定を、災害時の物資の供給、復旧資材の優先的な提供などは水道の資材商社と協定を結んでいる。

避難指示と適切な避難行動

問 避難情報のレベル4が避難指示に一本化されて1年が経過した。一本化で情報がわかりやすくなったという声がある一方、適切な避難行動にはつながっていないとの声があるが。

大雨防災情報と警戒レベル

警戒レベルと避難情報		取るべき行動
警戒レベル 5	災害発生又は切迫 ひんぱんにおそれる 緊急安全確保	命の危険!! 直ちに安全確保
~~~~~(警戒レベル4までに必ず避難!)		
警戒レベル 4	災害のおそれ高い 避難指示	危険な場所から 全員避難!!
警戒レベル 3	災害のおそれあり こころしとつづかな 高齢者等避難	危険な場所から 高齢者等避難!!
警戒レベル 2	気象状況悪化 大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	
警戒レベル 1	今後気象状況悪化のおそれ 早期注意情報 (気象庁)	

警戒レベル4までに必ず避難を  
レベル5では手遅れ

**町長** レベル4の段階には勧告と指示の2段階があり避難指示が出るまで様子を見ようという感じが否めなかった点から見ると避難行動につながりやすい制度改正だと思う。一方勧告であれ指示であれ、避難行動に結びつくものではない。何より住民の皆さんの防災意識を高めることをしなければ一本化だけで避難行動がスムーズに進むという状況にはない。

**問** 豪雨災害等が激甚化、頻発化する中で一人ひとりの状況に即した避難情報の発令は困難であり、避難の最終判断は個人に委ねられている。住民は、自らの命は自ら守る意識を持ち主体的に避難行動を取る必要がある。住民主体の防災意識の定着には粘り強く、持続的に啓発活動が続けていくことが必要と考えるが。

**町長** 住民一人ひとりが自らの命は自ら守るという意識を持ち対応してもらう必要がある。中学校などで防災教育を実施した。生徒から家庭へという形で防災対策を進めていきたい。各区にお願いしている地区防災マップを全区で作成することにより逃げ遅れゼロを目指していきたい。併せて地区防災計画の作成についても地域における対応が図れるよう進めていく。



# 町の活性化に総合的な産業ビジョンづくりを

**町長** 産業構造の多様化も視野に入れる



からさわ さとし  
唐澤 敏 議員



**問** 当町における産業政策をどのように評価しているか。

**町長** 産業の活性化に重きを置いて、支援などの施策を進めてきた。すべての産業分野にわたってバランスよく政策展開を図った。

**問** 当町における産業構造の現状と課題についての認識は。

**町長** 農業分野については、農業経営体数が減少しているが、町の活力維持のために力を入れていきたい。小規模の経営体が多い製造業については、多様化を念頭に幅広い産業構造に切り替えていく必要がある。人材や企業立地の問題もあるが、現状に依存するだけでなく、新たな方向を見定めたい。

**問** 農業・工業・林業・観光を見通し、ポストコロナ禍を踏まえた総合的な産業ビジョンづくりを。

**町長** 産業関係の各種計画やビジョンの策定に取り組んできたが、今後は、分野をまたぐ横の連繫を図るなどの全体像をみていく必要がある。人材や、DX、ゼロカーボン、SDGs等の産業間を網羅する課題もあり、総合的なビジョンづくりを研究してみたい。

**問** 農業応援団計画を踏まえた、新たな農業ビジョンづくりを。

**町長** 人・農地プランや農業委員会の動き、JA等の関連も強くなっ

てきている。名称はともかく、新たな計画のなかでは、農業振興施策も重点化し編成していく。

**問** 産業振興面における、人材の育成・確保の取り組みは。

**町長** 製造業における人材不足は、大変深刻であり、町としても対策を考えたい。広域連合でも、若者人材確保実行委員会を立ち上げて、積極的に取り組んでいる。

**問** 学校教育におけるキャリア教育の推進状況は。

**教育長** 総合的な学習の時間や、各種講演会、体験活動などを通じて重層的に進路学習を進めている。町キャリア教育推進協議会の支援も受けながら、生き方も含めて将来の姿について学んでいる。



わくワークみのわ～箕輪中学校2年生～  
(令和4年5月)

**問** 原油や資材価格の高騰に対応した産業支援策は。

**町長** 国や県の施策動向を見極めながら、情報を収集し、優先順位を考慮しつつ対応したい。

**問** 産業支援センターをGX・DXの拠点として活用できないか。

**町長** 場所的や設備面でも恵まれている。支援体制も充実しているので、そんな機能も発揮したい。



産業支援センターみのわ  
～産業振興の拠点としてますます期待される～

**問** 中小企業におけるDXの取り組み推進への支援体制づくりは。

**町長** 幅広い業種から、DX推進補助事業への要望がある。工業ビジョンの中間見直しのなかでも、IT化レベルの向上にむけて、補助事業や相談・支援の体制づくりについて取り組みたい。

**問** ゼロカーボン戦略の産業振興面における取り込みについては。

**町長** 省エネ最適化診断補助金の活用について、危機感をもって積極的に活用を図っていきたい。

その他の質問

- 「新しい資本主義」の受け止めについて
- 「みどりの食料システム戦略」について

# 森林火災への備えと体制は



なかざわ ちかし  
中澤 千夏志 議員

**町長** 上伊那広域や県と連携していく



**問** 今年4月長野県内では山林、下草火災の事例が相次いだ。4月9日8件、11日5件。地球温暖化の進行は乾季と豪雨期がはっきりしてくるといわれる。森林火災が発生した場合の消火体制は。

**町長** 林野火災については昭和28年から箕輪町消防団は全員招集を実施し初期消火に関わり、上伊那広域消防本部から出動隊、航空隊の派遣が必要な場合、県消防防災航空センターまたは、長野県危機管理部に対して消防防災ヘリの出動を要請することになる。

**問** 辰野町では民有の人工林所有者を対象に意向調査を実施し森林経営管理制度を2034年までに町内全域を完結させる方針だという。箕輪町の森林経営管理制度の実施方針は。

**町長** 東山地域の林地台帳の整理は令和3年に終了した、今後3年間の見込みで意向調査を行う。西山地域は令和4年から7年間で林地台帳整理をすすめてまいりたい。施業については東山は令和7年あたりから、西山については11年度から具体的に始まると考えている。

**問** 森林ビジョンの策定の検討状況と発出の予定は。

**町長** 担当課でビジョンの課題、目的、あり方などをまとめており、

森林関係者や有識者も事業者へのヒヤリングも行う。9月をめどに町としての基本的な考え方をまとめて年内には森林ビジョン策定委員会を立ち上げたいと考えている。防災、水源涵養、生態系の保全、ゼロカーボンなど様々な観点からビジョンづくりをしていきたい。

**問** 伊那市西春近の環境保全団体の関係者から箕輪町の森林について3つの意味で危険だと指摘されている。①住宅と森林との距離が近すぎる。②高速道路というバリアもない③樹高が高すぎると指摘している。森林火災対策、台風倒木、熊等野生動物との摩擦事故回避、防災の観点から緩衝帯の設置を森林ビジョンに織り込めないか。

**町長** 森林火災、台風倒木、熊との摩擦事故防止というような観点で対応できる内容も入れていく必要があると思う。委員会、町民の皆さんから意見をいただき考えて行きたい。

**問** みどりの資源リサイクルステーションに寄せられる支障木を炭化させて果樹などの樹勢回復に生かせないか。②西部地区へもリサイクルステーションを設置できないか。

**町長** 長野県でも果樹農家を対象に炭化機を貸出し樹勢回復の実証実験をするようだ。



みどりの資源リサイクルステーション

町でも希望する農家があれば県から機械を借りて、その効果をみながら方策を考えたい。ステーションは木材チップを求める人が多く現在の粉碎機によるチップ化は進める。西部地区の方にも利用いただいており必要性を感じる。破碎機が出す音の問題もあり適当な土地が見つからず今にいたる。今ある場所についての対応も考えて次の段階において考える。

## 平和祈念館の自治体パートナーに

**問** 県内27市町村、上伊那で3市町村が加入している満蒙開拓平和祈念館(阿智村)の自治体パートナー制度に加入されては。

**町長** 町民が気軽に行ける距離ではないので加入してこなかった。全体の状況を見ながら考えたい。

**教育長** 見学する必然性が生まれれば平和歴史教育として良い見学地になると考えている。



# 小児ワクチン接種 保護者の不安に寄り添って

**町長** 今後も厚労省の指針に沿って対応



おかだ けんじろう  
岡田 建二郎 議員



**問** 5歳から11歳までの新型コロナウイルスワクチン接種は、年齢が下がるほど接種率が低い。ワクチンの効果や副反応への懸念もあり、保護者の中には警戒感が強い。現在主流のオミクロン株は、健康な子どもであれば重症化率も非常に低く、悩んでいる保護者が多い。子育て世帯の不安や疑問に寄り添い、より客観的な情報の提供を。

令和4年5月23日時点

区分	対象者数		1回目 接種済者+予約済			
	男性	女性	男性	女性	合計	
5歳	206	107	99	16.0%	15.0%	17.2%
6歳	196	102	94	28.1%	29.4%	26.6%
7歳	209	118	91	32.1%	30.5%	34.1%
8歳	197	101	96	29.9%	31.7%	28.1%
9歳	176	98	78	43.8%	50.0%	35.9%
10歳	237	136	101	44.3%	53.7%	31.7%
11歳	246	141	105	51.2%	51.8%	50.5%
合計	1,467	803	664	35.6%	38.5%	32.1%

箕輪町の5歳～11歳の接種状況

**町長** 町としては厚生労働省の指針に沿って対応しており、ワクチン接種に対して町独自の検証を行うことはできない。

**問** 新型コロナウイルス感染によって休業された国保加入者は傷病手当が払われるが、給与所得者のみが対象で自営業者には補償がない。対象の拡充か傷病見舞金制度の創設を。

**町長** 国保の制度で拡充は難しい。感染拡大防止の観点からも、傷病手当と同規模の見舞金制度を検討したい。

## 樹木管理は 統一的な指針の作成を

**問** 昨年末から今年の春にかけて剪定された町内の樹木で、枯死してしまった個体が多く見られる。町民の満足度調査でも、箕輪町の景観や環境への評価が全世代を通じて高く、移住者にとっての関心も高い。植栽された樹種に応じた樹形の維持や、樹木にとっても住民にとってもストレスの少ない樹木管理の指針が必要ではないか。

**町長** 町が管理する町内すべての樹木に対して、統一した指針を設けることは難しい。学校など公共施設の樹木については、軽微なものは職員が行うなど、専門的知識に欠けることも事実。街路樹については、大きくなることを想定した樹種の選定をもっと検討すべきだった。地域の皆さんと協議する中で方向性を探りたい。



樹形を維持したままの管理が求められる  
町役場のケヤキ

## 投票率向上と投票所の 利便性向上を

**問** ①若い世代ほど投票率は低く、1割台の年代もある。長野県選管では、SNSも使った投票啓発を検討しているが、若者の低投票率の背景は。②木下区内では、保育園が統合されたことによって、投票所が減り、高齢者などから戸惑いの声も聴く。大きな投票所では駐車場から受付までが遠く、足の不自由な高齢者への配慮が必要だと考えるが対策は。



駐車場が広く、受付までが遠いと心配される新木下保育園投票所

**選挙管理委員長** ①18歳に比べて19歳の投票率は大きく下がる。通学や通勤で環境が変わり、選挙への意識が薄くなってしまいう傾向にある。②木下区の投票所の見直しは、木下区と協議を重ねて了承を得ている。投票所が遠くなるとの意見もあったが、他の投票区と比較しても特別遠くない。投票所への移動支援は、時間をかけて慎重に検討したい。

# 地元農産物の消費を 促進する環境づくりは

**町長** ファームテラスで地産地消を進める



おぎはら しょうぞう  
荻原 省三 議員

**問** 第5次振興計画にある地元農産物の消費を促進する環境づくりとは、みのわテラスでの地産地消ということか。



生産者の顔が見える農産物販売コーナー

**町長** 生産者の顔が見える農産物、安心安全な農産物、新鮮でおいしい農産物、地元が元気になる農産物、そういう意味で地産地消を進めていくことが必要。地産地消で一番の課題は、農家の皆さんに農産物を出していただくことでありファームテラスを盛り上げていくためにも一番大事だと思っている。JAと役場と協働して対応していく。

**副町長** みのわテラス、ファームテラスの現状は前年比105%となっており地元産の販売状況も増加している。最大の課題は、この地元農産物の販売額をさらに増やしていくこと。そのために学校給食に地元産のウェイトを高めていく必要がある。

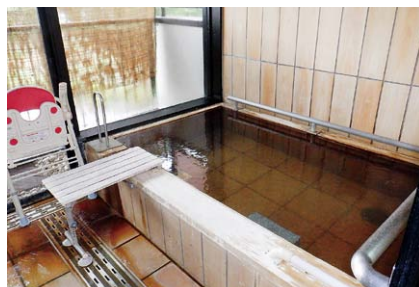
町としては学校給食の食材供給において手数料補助を検討したり、みのわ営農とじゃがいも等を単価契約という形でお願いをして

いる。また、ファームテラスを通しECサイトを立ち上げPRを行い、箕輪産の農産物を買っていただく環境づくりも役場としてお手伝いさせていただいている。さらに昨今のみのわテラスのイベントに多くの来場者があり、駐車場や周辺環境を含めて多くの課題が見つかった。地産地消を推進するために、みのわテラスの様々な拡大を考えている。

## 老朽化のながた荘の 全面改築は

**問** ながたの湯は日本一の温泉だと思う。ながた荘の施設の老朽化が目立つため全面改築はどうか。

**町長** 今後公共の宿を市町村が設置、建設をしていく時代かどうかの議論がまず必要。改修の時期は実は来ているが、コロナの状況



ながた荘の貸切風呂

を踏まえ一定の長寿命化に加えて提案のような改修も必要か、観光施設としてどうあるべきか検討する状況にある。

## 町長がメッセージの 発信を

**問** 箕輪町の経済を回すには町長がメッセージを出すことが大事だと思うが。

**町長** 経済活動はぜひ進めてほしい。国や県の感染症対策を受け上伊那の段階がレベル2になればその段階で声を上げる必要があると思う。

## 県議会議員の不在に ついて

**問** 上伊那にとって多大な功績を残された垣内県議が亡くなり残念。町の代表として町長が県議会議員となる考えは。

**町長** 県政の段階に私に行くことは全く考えていない。箕輪町の町づくりに少しでも寄与したいという気持ちでそれ以上でも以下でもない。

### その他の質問

- 環境に優しい農業の推進とはスローフードを目指すということか
- ながた荘の支配人不在について
- 役場庁舎内の各課名称について



### 箕輪町内で頑張っている皆まんを紹介

- ①見守りを始め方きっかけは
- ②見守り活動を通じて思うこと
- ③通学路の安全対策について思うことは
- ④見守り隊・パトロール隊の紹介、PRしたいこと

横断中

### 東小学校 南小河内区見守り隊

- ①仕事を辞めた後「少しでもお役に立てれば」と思い活動に参加している。
- ②子どもたちの元気で無邪気な言動に接し、元気や活力をもらっている。
  - ・車の運転マナーは良く、子どもたちの横断に協力的で助かっています。
  - ・子どもたちの行動は危険に思う時もありさらなる安全教育をお願いしたい。
- ③安全対策は着実に進んでいるが「絶対はない」。さらに安全対策を。特に危険な個所には防犯カメラも必要かと思う。
- ④子ども達は「地域の宝物」。未来を担う子ども達を見守る活動に参加しませんか。



※南小河内区見守り隊のほか、「長岡」見守り隊／北小河内見守り隊が活動しています。

### 南小学校 南小みまもりたい

- ①依頼があり「安全な登下校のため雨でも、雪でも一緒に歩く」という主旨に賛同。
- ②通学の時、旗を持っているとドライバーは車を止めて子供たちを渡してくれる。コミュニケーションが取れていると感じる。
- ③県道竜東線は道幅が狭く、カーブと坂道で見通しが悪い。昭和55年の死亡事故をきっかけに、地域の人々の好意で民家の裏を通る通学道路が造られており安心して通学できる。
- ④突然駆け出す子供たちを追いかけて息切れすることもあるが、概ね規則正しく生活できている。雪の日、雪かきを手に先導している仲間を見ると頼もしい。



夏の暑い日も雪が降る寒い日も、いつも笑顔で「おはよう」「おかえり」と声をかけて子どもたちの登下校を見守って下さっています。各小学校で見守りをしていた方に日頃感じていることをお聞きしました。子どもたちの安心と安全のためにご尽力いただきありがとうございます。

### 西小学校 通学パトロール隊

- ①始めたのは我が家の孫の入学以来、今日まで13年間。
- ②通学路が狭隘で生徒一人一杯通勤車両のスピードが目に残ります。
- ③一の宮地区の通学路を舗装すべき。西小前をスクールゾーン・信号機の設置を。警察車両はマイクでの広報ではなく車を止めて指導をお願いしたい。
- ④我々が着ているオレンジ色のベストは効果大、上級生が先頭に立っての通学状況は素晴らしい、ドライバーの一礼も立派です。



### 北小学校 沢区 北小児童見守りボランティア活動

- ①2005年に不審者や子どもの安全を危惧した地域の委託を受けてボランティアを組織し、通学パトロールの会が発足しました。
- ②見守り活動をすべての通学路で行うことは無理があり、子どもは自分の安全は自分で実行してほしいと思う。いつでも明るく元気で挨拶できる子ども達でいて下さい。
- ③安全対策は町に陳情して対策していただいた個所もあります。今後も子どもの安全対策のため陳情していきます。
- ④高齢化等で会員が減少。昨年、新体制を組み活動を続けています。地域の子どもたちを地域で守るために入会をお願いします。



※沢区 北小児童見守りボランティア活動のほか、八乙女区 見守り隊／大出支会 通学パトロール・見守り隊が活動しています。

### 中部小学校 中部小安全みまもり隊

- ①PTA会員を終えたあとです。
- ②子どもは、前も後ろも右も左も見ないモノです。
- ③グリーンベルトはとても効果があります。
- ④登校時は主にみまもり隊、下校時は保護者の方々に入っています。



## 編集後記

今年は記録的暑さのなか梅雨明けとなり、熱中症アラートが3日連続で発表されました。水分の補給、マスクの適切な着用などを心がけましょう。

表紙は箕輪西小学校5年生が農業体験の一環として、もち米の田植えをした様子です。収穫、精米、餅つきと食の大切さを学びます。

箕輪町は「ゼロカーボンシティ宣言」を行いました。まずは町民・事業者・行政が一体となって2030年度実質60%のCO₂削減を目指します。自分にできるゼロカーボンを見つけましょう。(釜屋美春)

議会だよりに関するご意見がありましたらお寄せください。

役場議会事務局 電話79-3187(直)  
メールアドレス gikai@town.minowa.lg.jp

### 【議会広報特別委員会】

- 委員長 釜屋 美春
- 副委員長 青木 俊夫
- 委員 木村 英雄 / 松本 五郎 / 中澤 千夏志